

論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 大 曲 紗 生
論文審査委員	主 査 田 中 芳 彦 印
	副 査 坂 上 竜 資 印
	副 査 廣 藤 卓 雄 印
論文題目	Effects of S-PRG Eluate on Bacterial Activity Related to Periodontitis and Oral Malodor
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>多機能性バイオアクティブ素材 S-PRG フィラーは広く歯科臨床に応用されているが、歯周炎や口臭の原因となる <i>Porphyromonas gingivalis</i> (<i>P. g.</i>) の生理活性に及ぼす影響については不明な点が多い。本論文は、S-PRG フィラーの溶出液を用いて <i>P. g.</i> の生理活性を in vitro で解析したものである。その結果、S-PRG フィラーの溶出液が <i>P. g.</i> の増殖、プロテアーゼの活性、および揮発性硫化化合物の産生を抑制することを見出した。また、S-PRG フィラーの溶出液に含まれるイオン分子の中に、<i>P. g.</i> のプロテアーゼ活性を抑制する効果をもつイオン分子があることを明らかにした。さらに、<i>Tannerella forsythia</i> がもつ <i>P. g.</i> に対する細胞間の増殖促進効果を、S-PRG フィラーの溶出液が阻害することを示した。本研究は、S-PRG 含有歯科材料が歯周炎や口臭の抑制効果をもつ可能性を示す意義のある知見である。</p> <p>公開予備審査会とその後の追加レポートにおいて、論文提出者は、研究の背景、目的と実験方法、得られた結果と考察について、明確に解説し、質疑に対する適切な回答が得られた。本論文に関する十分な背景と知識をもち、研究成果への貢献を有すると評価できた。</p> <p>以上より、本論文を博士（歯学）の学位申請論文として適格で価値のあるものと評価し、予備審査を合格と判定した。</p>	